



市民活動・ボランティア活動情報誌

2026年3月13日

No.218

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称: 横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 **こころに寄り添い 地域とつながる 民生委員・児童委員**



福よこクイズプレゼント

サコッシュ
→詳しくは裏表紙へ



民生委員・児童委員による定期訪問の様子
(金沢区内にて: 12月22日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 民生委員・児童委員 ... p4

ボラセン情報

みんなが輝くファッションショー
～よこはまふれあい助成金を
活用した取組～..... p5

市社協情報

障害と福祉のウェブマガジン
With Me p6



現役大学生が
取材しました

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



こころに寄り添い 地域とつながる

民生委員・児童委員

かまりや 釜利谷地区の 民生委員の皆さんに インタビュー!

日頃、民生委員の皆さんがどのような思いで、どんな活動に取り組んでいるのか、今回は金沢区の釜利谷地区民児協を取材し、民生委員になったきっかけや大切にしている思い、これからの抱負をうかがいました。

2期(4年目)チーム

■相手の話をよく聴いて共感する(横山さん)

傾聴ボランティアを通じて人の話を「心で聴く」大切さを学び、その経験を生かせると思い民生委員になりました。また、親族に経験者がいたこともあり、興味がありました。民生委員活動は「学びの場」だと感じています。

■気負わず自然体で(藤田さん)

民生委員は大変そうという印象でしたが、家族を看取った経験を町内で役立てるために、やれることを無理なくやってみようという気持ちで引き受けました。気兼ねなく声をかけてもらい、困っているときに手を差し伸べて一緒に考えていける存在でいたいです。

■誰もが安心して暮らせるコミュニティづくり(渥美さん)

退職後、地域のためにできることを始めようと思いましたが、亡くなった家族が民生委員の先輩だったのもきっかけになっています。自分一人だけでなく、近隣の方々からも情報をもらい、民生委員が地域のハブ(接点)になればと思っています。昔ながらの向こう三軒両隣が根づく地域をつくりたいです。



7期(19年目)チーム

■笑顔でよく聞く(佐橋さん)

人と話すことが苦手だったので迷いましたが、「笑顔で話を聞くことならできると」思い、引き受けました。続けていると「変わらず来てくれる。あなたで良かった」という声をいただき、つながりを実感できました。

地域の先輩方の人生に触れて、「こうなりたい」と思う出会いもあり、民生委員になってよかったと思っています。

■奉仕の心で(眞鍋さん)

元々人と話すことが好きだったので、引き受けました。自分もいろいろな人にお世話になってきたので、「一人も置き去りにしない」という考えを大切に、与えられた仕事をやりたいと思っています。訪問を待っていてくれる人の存在が喜びであり支えです。民生委員の役割を知る人をもっと増やしていきたいです。



主任児童委員

■笑顔であいさつ(野中さん)

小学校のPTAの集まりで主任児童委員の方と知りあい、興味をもちました。声がかかった時に、自分の子どもにも近い存在だと思い、私にもやれることがあるのではと引き受けました。私自身が育児教室や親子サロンに気後れして、参加できなかった経験があったので、笑顔で声かけをして安心してもらえるようにしています。学校とは別の居場所づくりにも関わりたいです。



民生委員・児童委員(以下、民生委員)は、地域住民一人ひとりの困りごと・悩みごとの相談にのり、適切な支援、サービスへの「つなぎ役」を担っています。横浜市では、18の区民生委員児童委員協議会と264の地区民生委員児童委員協議会(以下、民児協)に、4,161名※が所属し、活動しています。

任期3年ごとに行われる一斉改選(令和7年12月)により新たな活動がスタートしています。※令和7年12月1日現在

民生委員・児童委員についての詳しい説明はこちら(全国民生委員児童委員連合会ホームページ)



釜利谷地区民児協の皆さん

日頃の民生委員活動を紹介します

ほんの一部ですが...

case1 安心できる 地域での暮らしを支えます 見守り活動

担当している方を定期訪問し、近況を伺ったり、情報を届けたりしています。訪問頻度は相手の方のペースに合わせて決めています。訪問だけでなく、まちで会っても挨拶や会話を重ねています。

「子育ても仕事でも地域にたくさんお世話になってきたので、その恩返しをしたい」と話す寺木さん。教員をしていた経験と暮らしてきた地域への感謝の気持ちが活動の原動力です。



釜利谷地区民児協会長の寺木さん(右)

case2 地域の中での子育てを応援します 子育てサロンへの協力

釜利谷地区では、毎月の子育てサロンに加え、「親子すくすく広場」を年1回開催しています。民生委員もメンバーとして協力。地域の親子が集い、安心して交流できる場を支えています。

土曜日に開催し、この日は親子16組・40名が参加。「子育てに不安や心配な時期なので、お子さんも自分もいっぱい褒めてあげてほしい。子育てを楽しんで」と寄り添います。



参加者の声

- 民生委員さんとは、赤ちゃん訪問からのつながりです。慣れない子育てに戸惑う時もあるけれど、こういう場が安心につながっています
- スタッフの人たちは一日で名前を覚えてくれました。普段できない体験ができて楽しかったです

民生委員活動での出会いは宝物 釜利谷地区民児協

私たちは「近所のおじちゃん、おばちゃん」として、地域の皆さんの力をお借りしながら、少しでも近隣の方々のお役に立てたらと思います。

民生委員は、高齢者や子どもだけでなく、若者、子育て中の方、単身の方、**どんな方からでも困りごとを聴いて相談にのることが役割です。**「誰にも言えない話を話せるだけでも気持ちが軽くなる」「あなたがいるから助かっている」と言ってくれたとき、普段の生活では得られないやりがいを感じます。

自分の生活も大切にしながら誰かの役に立てるようにと、**個々の負担にならない活動のカタチをみんなで相談しながらつくっています。**



役員の皆さん 左から中村さん、工藤さん、寺木さん、眞鍋さん、藤田さん、前田さん

民生委員・児童委員の仕事...4ページをご覧ください



赤ちゃんからお年寄りまで 地域の頼れる存在になりたい

横浜市民生委員児童委員協議会 会長

いしい まさこ
石井 マサ子さん に聞きました

現役大学生が取材しました

きっかけ 前任者から急ぎよ引き継ぐ形で民生委員になり33年目です。母が子どもを見てくれるなど家族の後押しもあり、安心して民生委員になることができました。元々自治会の副会長として地域活動に関わっていたことも背景にありました。

日々の仕事 一人暮らしで、あまり家から出られない方には月に1~2回程訪問しています。高齢の方を対象としたサロンも月に1回開催しています。また、登下校中や公園で遊んでいる子どもたちを見守ることも役割です。外出時は早めに家を出て地域の様子を確認し、道で会った人には自分から声をかけ、顔の見えるつながりづくりをしています。

心がけていること 訪問した時に、気軽に愚痴をこぼし話してもらえるような関係づくりを心がけています。ご本人の周りの方とつながりを持つことも必要で、近隣の方から様子を伺い気づくこともありますし、介護サービスを利用している方の場合はケアマネジャーや福祉職の方とも連携しています。

やりがい・喜び 民生委員は、悩みを抱えている方と必要な福祉サービスや関係機関をつなぐ役割を担っています。人と人とのつながりを重ねる中で、訪問した時、問題が解決できた時に「ありがとう」「いつもご苦労さま」と声をかけていただくと、嬉しさや大きなやりがいを感じます。

民生委員になって得られた経験 これまで多くの方とつながりができ、民生委員だからこそ得られた経験は財産となっています。全国民生委員児童委員大会では他地域の活動を学び、参加者たちと意見交換を行っています。県内外の施設見学にも行き、得た知識は横浜の民生委員と共有して、良いものは活動に取り入れています。

地域の皆さんへ 足が不自由な方が近所で動けなくなった際、周辺の方の連絡と協力で支援につながったり、一人暮らしの方の異変を行きつけの店から知らせてもらったり、活動は近隣の方々に支えられています。民生委員は「いざという時に相談してもらえる存在」でありたいと思っています。挨拶を大切に、さまざまな集まりに積極的に参加してつながりを深め、住みよい地域にしていきたいです。

横浜市民生委員児童委員協議会

市内で活躍する民生委員が会員登録する横浜市民生委員児童委員協議会(18区民児協・264地区民児協)は、委員の資質向上や知識習得のための研修、行政・関係機関との連絡調整などを行っています。

大学生のライター体験

この取組は、若い世代が「福祉よこはま」とつながるきっかけづくりとして行っています。若木さんも羽根田さんも事前にインタビューのコツなどを学び取材に臨みました。2人の感想(裏表紙の編集後記)もぜひご覧ください。

民生委員のお話は、
初めて知ることばかり!



わかきひかる
若木光さん(左)
はねだ あかつき
羽根田暁虹さん(右)

福祉人材に関する情報

かながわ福祉
人材センター



ホームページ▶

横浜市内の
介護人材
関連情報



ホームページ▶

広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に!

例えば

- ◆ご近所で契約トラブルの情報共有
- ◆消費者被害で困っている人がいたら
横浜市消費生活総合センターを案内

消費生活相談電話

TEL.045-845-6666



センターHP



高齢者に多い点検商法トラブル

- ①分電盤やブレーカー
- ②ガス給湯器
- ③屋根や外壁、床下等



はまのタスク

見守りアドバイスのポイント

- 突然の訪問点検には安易に応じない
- 交換が必要かメーカー等に相談する
- 複数の業者から見積りを取る

みんなが輝く

ファッションショー

～よこはまふれあい助成金を活用した取組～

地域の活動を応援する「よこはまふれあい助成金」。令和7年度には、この助成金を活用し、多世代が参加するファッションショーが開催されました。ステージに立つ人、支える人、応援する人——さまざまな立場の市民が力を合わせてつくり上げた取組を紹介します。



YOKOHAMA OLD GIRLS COLLECTIONを開催！

令和7年12月20日、緑公会堂にて「YOKOHAMA OLD GIRLS COLLECTION vol.1 (YOGC)」が一般社団法人フラットガーデン主催で開催されました。

ステージに立ったのは、65歳以上の女性モデル18人。プロの指導のもと、モデルウォーキングや振付を練習しました。本番に向けて練習を重ねるごとに、仲間同士で声をかけあいながら、より素敵なステージを目指していきいきと取り組む姿が見られました。メイクは「介護×美容」のプロスクールである介護美容研究所の協力もいただき、また音響や照明、イラスト等は地域の方や障害のある若者も参加し、さまざまな方が関わる温かなイベントとなりました。



©井戸雀透

本番まで5回、衣装合わせやモデルウォーキングの練習をしました



©井戸雀透

多様な人たちが運営の手伝いをしてくださいました



©井戸雀透

当日は300名近い来場者で大賑わい

参加者の声

- 引っ越してきたばかりで知り合いもいない中、思いきって参加しました。ここで仲間ができて、本当に良かったです
- 毎日が本番のようで、練習の日が楽しみでした。背筋が伸びて、少しきれいになった気がします

今回の取組を企画した、
一般社団法人フラットガーデン代表理事 松岡 美子さん

まつおか よしこ



よこはまふれあい助成金を活用することで、第1回目となるファッションショーを無事に開催することができました。初回の練習とは見違えるほど、いきいきとステージを歩く参加者の姿が印象的でした。年齢や世代で区切るのではなく、誰もが輝ける場をつくることの大切さを改めて感じる機会となりました。

今後も、多様な人が関わり、活躍できる場づくりを続けていきたいです。

横浜市ボランティアセンターより

よこはまふれあい助成金のご紹介

よこはまふれあい助成金は、横浜市内で地域福祉活動に取り組む団体を応援するための制度です。市民や企業の皆さまから寄せられたご寄付等を財源として、地域のつながりづくりや新たな福祉活動を後押ししています。

横浜市社会福祉協議会では、

- 横浜市地域福祉保健計画に沿った取組
 - 複数区にまたがる活動 ● 先駆的・モデル的な事業
- を対象に助成を行っています。

また、各区社会福祉協議会では、身近な地域で継続的に活動する団体を応援する助成制度を設けています。

横浜市地域福祉保健計画とは・・・

横浜市と社会福祉協議会が中心となり、誰もが安心して暮らせるように、地域の支え合いや健康づくりを進めるための市全体の計画です。

この記事に関する
問い合わせは

横浜市
ボランティアセンター
☎045-201-8620





With Me

「障害と福祉のウェブマガジン」

ウイスマー

「With Me」公開中です

本会 障害者団体部会では、「障害と福祉のウェブマガジン With Me」を公開しています。誰もが暮らしやすい街を目指し、横浜に暮らす障害のある方やご家族へのインタビュー記事を掲載しています。

これまでに、障害者施設に通う方の日常や、発達に心配のある子どもとその家族が活動する地域訓練会の様子などを載せています。読みやすい内容なのでお気軽にアクセスしてみてください。



聞こえなくても
自転車競技ができることを
見せていきたい



▲詳細は
こちらから

【問い合わせ】

障害者支援センター ☎045-681-1211

賛助会員の募集

地域福祉推進の
「サポーター」に
なっただけませんか？

本会では、住民の皆さまの参加と協力によって地域福祉を推進するため、賛助会員を募集しています。

賛助会費は本会の事業・活動に利用させていただいております。皆さまのご支援が「誰もが安心して自分らしく暮らせるまちづくり」につながります。

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



【問い合わせ】

総務部 ☎045-201-2096

みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



本郷Yランナーズ

本郷Yランナーズは、2004年4月に本郷特別支援学校の保護者と先生が中心となって立ち上げたランニングサークルです。中学部以上の障害のある在校生と卒業生が参加し、ランニングを楽しみながらマラソン大会への出場を目指して活動しています。

活動の目的

- マラソンの楽しさを知り、生涯スポーツとして取り組む
- 仲間との交流を広げ、一般のレースに参加して社会とのつながりを持つ
- 健康維持や体力向上を図る
- 休日の生活リズムを整える
- マラソンを通して自信や自尊心を育む

練習は毎月第1・第3土曜日に本郷特別支援学校のグラウンドで行っています(7・8月は自主練習)。

現在、伴走ボランティアが不足しており、協力してくださる方を募集しています。興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

【問い合わせ】

栄区社会福祉協議会 ☎045-894-8521



▲伴走ボランティアさんと共に
頑張る練習

お礼のメッセージ

ふれあい助成金は、主に伴走ボランティアさんの大会の交通費として使わせていただいております。毎年、横浜マラソン、よこすかシーサイドマラソン、湘南国際マラソン、三浦国際市民マラソンなどに数名参加しています。サークルの記録会行事として本郷Yランナーズカップも根岸森林公園で行っています。大会は栄区外での開催が多いので、とても助かり、大切に使用しております。毎年ありがとうございます。

横浜市ボランティアセンターでは、
寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和7年10月1日～12月31日受付分(受入順)

金銭寄付者

〈個人〉

- 吉村 春美 様
- 三橋 伸一 様
- 本田 桂子 様
- 河野 様

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様 (3件)
- 株式会社 暮らしの友 お客様貢献室 様
- 株式会社 暮らしの友 横浜営業所 様
- 株式会社 創健社 様
- 神奈川ロータリークラブ 様
- いのもと分析セラピーオフィス 様 (3件)
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (2件)
- KLA Foundation 様

● ラムリサーチ 合同会社 様

- メモリーズ 株式会社 様
 - 株式会社 バンガード 様
 - 宗教法人 真如苑 様
 - 公益財団法人 神奈川霊園 様
 - 社会福祉法人 聖坂学園 ナザレ工房 様
 - 横浜冷凍 株式会社 様
- 〈匿名寄付〉(54件)

物品寄付者

〈企業・団体〉

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様
- 千代田化工建設 株式会社 様
- MM Grass Park 2025 様
- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様

ヨコハマ寄付本寄付者

〈個人〉

- 前田 由美 様

〈企業・団体〉

- リコージャパン 株式会社 神奈川支社 様
 - 横浜市北山田地区センター 様 (3件)
 - JFEエンジニアリング 株式会社 調達本部 様
- 〈横浜市社会福祉協議会運営施設等〉
- 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
 - 老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉もえぎ野地域ケアプラザ 様 (2件)
 - 横浜市東永谷地域ケアプラザ 様 (2件)
 - 横浜市社会福祉センター 利用者一同 (2件) 様
- 〈匿名寄付〉(46件)

弁護士や司法書士による遺贈
寄付の専門相談を受け付けて
います。
毎月第2水曜日
(要予約)

ホームページ▶



ヨコ寄付

本会への寄付金を活用し、制度
では対応できない課題の解決
を目指します



ホームページ▶

駅近！ 便利な貸会議室のご案内

目的や立地に応じて使い分けられる2施設
福祉・保健関係者を対象とした施設ですが、一般の方もご利用いただけます

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 多様な貸会議室をご用意しています

上大岡駅
徒歩3分

4~240名まで収容可能な研修室、実習室、和室など30室を備えています。打ち合わせ、研修、会議と幅広い用途でご利用いただけます。ぜひご活用ください。
※有料・要事前予約



机・椅子のレイアウト、
付帯設備の設営は
当施設が行います

車いす、介護ベッドなどを
備えた介護実習室



詳しいご利用についてのお問合せは

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
TEL: 045-847-6666 FAX: 045-345-0799
〒233-0002 港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
開館時間: 9:00~21:00
休館日: 年末年始、設備点検日
インターネットで
空室検索ができます

ウィリング横浜 検索



横浜市社会福祉センター 会議室・ホールを使ってみませんか？

桜木町駅
徒歩2分

会議室やホールなどの貸出を行っています。会議室は最大108名まで、ホールは298名まで収容可能。平日は夜9時までご利用いただけます。ぜひご活用ください。
※有料・要事前登録

ホールは、研修会や講演会などの会場として人気です



詳しいご利用についてのお問合せは

横浜市社会福祉センター
TEL: 045-201-2060 FAX: 045-201-6116
〒231-8482 中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内
開館時間: 平日9:00~21:00(土日祝日は17:00まで)
休館日: 毎月最終月曜日、年末年始、設備点検日
インターネットで予約・空室検索ができます

横浜市社会福祉センター 検索



指定管理者: 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

広告

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和8年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉
〈保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

前号の内容

- 特集**
身近な場所でつながる安心のかたち
～港南区野庭団地の取組～
- 福祉の仕事**
ケアマネジャー(介護支援専門員)
- ボラセン情報**
ヨコハマ寄付本、寄付付き商品の取組

表紙を飾る高齢者の方のなんと表情の明るいこと！人とのつながりはとても大切です。野庭団地に住んでいる人は幸せですね。
(金沢区 N.O)

「特集」高齢の親と、この先、どう過ごしていけばよいか考えている矢先の内容でしたので、グッとくるものがありました。
地域の顔見知りさんとのつながりは、お互いにひとりではない安心感につながるんだな、大切にしたいなと改めて思いました。
(戸塚区 匿名)

ヨコハマ寄付本については、今回の記事で初めて存在を知りました。読んでいたわけではないけど、捨てるのは忍びない本があるので、寄付できると手放しやすいです。これを機に利用してみようと思います。
(神奈川区 田中)

「特集」大唄会など、職場である施設でも取り入れることができそうな企画の紹介があり、興味深い記事でした。
(金沢区 M.N)

高校一年生の孫が、看護関係への進学を希望しています。ケアマネジャー大川さんの記事を読み、将来設計に役立つ情報なので、孫に読んでもらいたいと思手渡します。
(神奈川区 Y.K)

みんなの声は「福よこクイズ」に寄せられた感想・ご意見を掲載しています。

クイズに答えて、プレゼントにご応募ください！

福よこクイズ

ご感想もお待ちしております！

Q (特集) 民生委員・児童委員は、地域住民一人ひとりの困りごと・悩みごとの相談にのり、サービスへの「〇〇〇役」を担っています。(ひらがな3文字)

今号のプレゼント

サコッシュ

薄型のショルダーバッグです



縦：約20cm×横：約16cm
※個体差があります。
色はおまかせください。



▲制作の様子



着用イメージ

251(nico-ichi) ▶ インスタグラム

〈アカウント名〉
251nicoichi_



▶251(nico-ichi) フェイスブック

ご感想のみの方もお待ちしております。

応募方法

はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、次の項目をご記入のうえお送りください。

項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否 (匿名希望はイニシャルを記載)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
FAX 045-201-8385
Eメール
fukuyoko@yokohamashakyo.jp
「福よこクイズ」応募フォーム▶



【個人情報取扱】

応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

前号217号「福よこクイズ」の答えは、「野庭」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

私たちが取材しました ～現役大学生のライター体験(4ページ・福祉の仕事)～

◆インタビューは初めての経験で緊張しましたが、とても楽しかったです。自分が知らない民生委員の話の間を聞くという機会も学びになり、ここでしか得られない経験になったと感じます。石井さんは質問に対してたくさん話してくださり、インタビューしやすかったです。このような機会をくださり感謝しかないです。ありがとうございました。(若木光さん)

◆これまで民生委員について知識がなかったため、何ったお話はどれも新鮮で、新しい扉を開いたような感覚でした。特に印象に残っているのは、何度も登場した「つながり」というワードです。人と人との関わりが希薄になりがちな今、「つながり」の大切さは、私自身、忘れていたことでもあったと感じました。今回の経験をきっかけに、一つ一つの出会いを大切にしながら、つながりを築いていきたいと思手渡します。(羽根田暁虹さん)

左から若木さん、横浜市民児協会長の石井さん、羽根田さん▶



「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp
〈デザイン〉 次号▶No.219
株式会社 オールスタッフ 令和8年6月発行予定